

「乱暴な行動がある」と思ったら？



なぜなの？

- ・力加減がわかりにくい。(対応方法①)
- ・脳や体が力を使うことを求めている。(対応方法②)
- ・手先が不器用(発達途上)で、うまく力のコントロールができない。
(対応方法③)
- ・見たものに反応しやすい性質があり、衝動的に行動している。(対応方法④)
- ・自分の思いがうまく表現できないで行動している。(対応方法⑤)
(自分でやりたいのにできない)

エネルギーが足りなくなると、興味のあることが見つかった時にとことんやりぬく力になりそうですね！



どうしたらいい？(対応方法)

- ①生活の中で力加減を具体的に教えてみよう。
「そおーと、ね」「やさしくね」言葉に合わせて実際の力加減・速度でみせる
- ②思いきり力を使える遊びやお手伝いを一緒にしてみよう。
- ③まずはおおきな筋肉を使う遊びを一緒にしてみよう。
- ④気が散るものをなるべく少なくしてみよう。
- ⑤乱暴だから、と決め付けずに、子どもの話をゆっくり聞いてみよう
子ども同士のトラブルは、その場で子どもの思いを大人が通訳して、
どうすれば良いのか対応方法を教えてあげよう



困ったり迷ったりしたら、いつでも相談してくださいね。

三原市こども安心課	電話0848-67-6061
本郷保健福祉センター	電話0848-86-3609
久井保健福祉センター	電話0847-32-8551
大和保健福祉センター	電話0847-34-0960